

で、大きなリニアメントから大きな断層や破碎帯、また、小さなリニアメントの模様や陰影から岩質や地層の走向・傾斜などまで判読できる。

ランドサット衛星は、種々の情報を陸上から得るため、 $0.5 \sim 1.1 \mu\text{m}$  の波長域を次の4つに分け、4つのカメラで同時に撮影している。

スペクトルバンド

4 バンド	$0.5 \sim 0.6 \mu\text{m}$
5 バンド	$0.6 \sim 0.7 \mu\text{m}$
6 バンド	$0.7 \sim 0.8 \mu\text{m}$
7 バンド	$0.8 \sim 1.1 \mu\text{m}$

これらのスペクトルバンドで撮影された画像

は、それぞれ次のような特徴を持っている。

○ 4 バンド (緑色光に相当)

水をよく透過するので、浅海底のようすを調べるのに適する。

○ 5 バンド (オレンジ色に相当)

大気をよく透過するので、地表物のようすがよくわかり、最も用途が広い。山地と平地の区別、植生の豊かな所と裸地との違いがはっきりあらわれる。

○ 6 バンド (赤色光に相当)

近赤外線に似て、水にかなり吸収されるので、水域がよくあらわれる。川、池、湖、海は黒くなる。

○ 7 バンド (近赤外線に相当)

近赤外線は水によく吸収されるので、川、池、湖、海が真黒にあらわれる。そこで、水の環境を知るのに適する。

生きた生物は、この光の反射が強いので、緑の山はよく写る。うすい雲は透してしまうので、地表物は鮮明に写る。以上のように、各バンドはそれぞれ特徴をもっているので、学習目的に適したバンドの画像を選定せねばならない。地形や地質を対象とする場合、5バンドが多く用いられているが、外に7バンドもよく用いられる。

参考事項

・ランドサット画像

東京都港区六本木7丁目15番  
17号ユニ六本木ビル7階

リモートセンシング技術センター

カラー写真 (17×18cmのもの)  
7000円

白黒写真 (17×18cmのもの)  
2500円

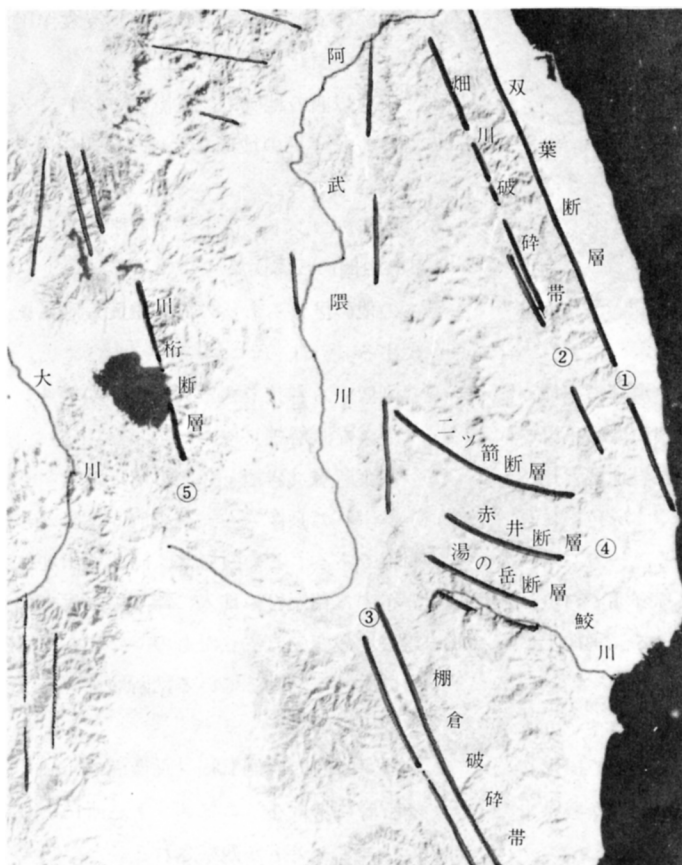


図4 福島県土の主なリニアメント